



卒業アルバムより 左：小林先生 右：安江先生

## 6組担任

### 小林 元亨先生(1年) 安江 昭祐先生(2・3年)の 思い出



筆者：近影

卒業アルバムより

#### 布施 修一郎

- 1年生時担任だった小林元亨先生は、東大哲学科を卒業とあって話が哲学的で難しく感じた記憶ぐらいしかありません。小林先生は教師と同時に現職の陽泰寺住職であられ、数年前のお葬式は超高僧であったため、各地の主だった高僧の都合がつく、ご逝去1年後になり、やっと執り行なわれました。(2018年6月 逝去)
- 担任、特に2, 3年生時担任だった安江昭祐先生との話は、先生の葬儀の弔辞で私が述べた全文がHPアーカイブ(2010年5月)に掲載されていますので割愛します。

#### ・・・ある英語教師の話

- 担任ではありませんが、1年生時、英語を教わった高橋先生ですが、低音ボイスでどことなくアカデミックな雰囲気の方でした。

ある日、「テアトルでブリジット・バルドーの『軽蔑』を観ましたが、綺麗ないいケツ(尻)でしたなあ」とサラッと語られ、我々を大人として扱っておられるのだと嬉しく思いました。

また、テストの英訳で「怠けるな」が分からず「work」と回答したところ五重丸がついており、この回答を全員にお披露目して下さったことが強く印象に残っています。

残念ながら、当時は名称さえ知らなかった京都産業大学に助教授として栄転されましたが、その後有名人を何人も輩出しているこの大学は、高橋先生のような個性的な人材を雇ったから存在感のある大学になったのではないかと密かに思っています。